

2015年度 電子情報通信学会 第4回 SWIM 専門委員会 議事録

開催日時：2016年2月26日（金） 11：00～12：00

場所：機械振興会館 102号室

出席者（敬称略）： 須栗(委員長)、松本、堀米、片岡、丸山、林、結城、増井、宮西、丹原、荻野(記)

議題：

1. 来年度の体制
2. 2016年度の年度計画
3. 2016年度のSWIM研究会実施方針

議事：

1. 来年度の体制(委員長，副委員長，幹事，幹事補)案（前回からの継続検討事項）

委員長	宇田川 佳久	--	--
副委員長	荻野 正	副委員長	結城 修
幹事	丸山 文宏	幹事	
幹事補		幹事補	

- ・永吉氏、丹原氏から辞退の申し出あり。
- ・石野氏については、来年度の負荷によるとの回答あり。4月以降再度確認する。
→ 専門委員会の後の研究会で片岡氏より確認し承認を得ました。

2. 2016年度の年度計画（前回からの継続検討事項）

① 専門委員

役職名称 氏名 (所属)

-
- 委員長 須栗裕樹 (宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科)
 - 副委員長 宇田川佳久 (東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科)
 - 幹事 荻野正 (明星大学 情報学部 情報学科)
 - 幹事 結城修(キヤノン株式会社 宇都宮事業所光学技術研究所計測システム開発室)
 - 幹事補佐 丸山文宏 (株式会社富士通研究所 R&D戦略本部)
 - 幹事補佐 ~~永吉実武 (早稲田大学 商学学術院総合研究所 WBS 研究センター)~~
 - 専門委員 堀米明 (株式会社フィジオ 経営戦略室長)
 - 専門委員 片岡 信弘 (元東海大学)
 - 専門委員 新川芳行 (龍谷大学 理工学部)
 - 専門委員 谷垣豪 (株式会社ビーオーピー)
 - 専門委員 宮西洋太郎 (株式会社アイエスイーエム)
 - 専門委員 林 章浩 (株式会社小野測器 管理本部 CMMI 担当)
 - 専門委員 松田順 (千代田ユーテック株式会社 千代田事業部長)
 - 専門委員 松本正雄 (ソリューション総研 主宰)
 - 専門委員 家田信吾 (日本電話施設株式会社 NGI ビジネス本部)
 - 専門委員 石野正彦 (文教大学 情報学部 情報社会学科)
 - 専門委員 増井久之 (元香川大学)
 - 専門委員 浅井邦之 (株式会社ビーオーピー 代表取締役)
 - 専門委員 岩田祐一 (日本電信電話株式会社 ロンドン駐在)
 - 専門委員 飯島正 (慶應義塾大学 理工学部管理工学科)
 - 専門委員 野地保 (元東海大学)
 - 専門委員 黒瀬晋 (NECソリューションイノベータ (株)
第一流通サービス業ソリューション事業部 第三ソリューショングループ)
 - 専門委員 ~~丹原雅夫 (NTT アイティ)~~

- ・永吉氏、丹原氏から辞退の申し出あり。

(新任候補)

専門委員 小松昭英 (ものづくり APS 推進機構)

専門委員 五月女健治 (法政大学経営大学院)
 専門委員 能上慎也 (東京理科大経営学部)
 専門委員 稲田修一 (東京大学先端科学技術研究センター)
 専門委員 木村礼壮 (合同会社ドリーム IT 研究所)

- ・ 新任候補は、須栗委員長より再度依頼確認する。メールアドレスは片岡氏より連絡する。(小松氏、五月女氏の二名は内諾済み)
- ・ 専門委員の名簿は、須栗委員長が作成する。

② 各種委員案

2016年度の各種委員 (確認事項)

業務	2016年度	2014, 15年度	備考
会計	堀米	堀米	学会の仕事
ソサエティ誌委員	黒瀬	宇田川	学会の仕事
FIT	丸山	丸山	学会の仕事
総合大会	結城	結城	学会の仕事
ホームページ	須栗	須栗、谷垣	IEICE 上
メーリングリスト	須栗	須栗	IEICE 上
swim-news	片岡	片岡	Google 上
優秀論文表彰委員会委員長	委員長	委員長	表彰委員会規定による
表彰委員会委員幹事	SWIM 幹事	SWIM 幹事	
表彰委員会委員	幹事、専門委員	運営委員	
査読委員長	新川	新川	
ICEIS の担当	須栗	須栗	
ISS 功労表彰	委員長マター	委員長マター	
進捗管理 (活動フォロー)	片岡	堀米	

③ 幹事および幹事の役割分担 (確認事項)

幹事長を、荻野氏とする。次年度の専門委員会開催の連絡、議事録作成を行う。
 表彰幹事を丸山氏とする。

④ 来年度の各研究会の開催場所、世話人の設定 (前回からの継続検討事項)

	日時	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切 (発表申込締切)	論文 件数	ペー ジ数 予定	備考
第1回 研究会	5月20 日(金)	機械振興 会館	結城	1月 中旬	3月18日(金)	5	30	IT 技術とインタ プライズ、一般
第2回 研究会	8月26 日(金)	法政大学	五月女 (片岡)	5月 初旬	6月17日(金)	6	36	インタプライズ のモデリング、 一般
FIT 2016	9月7 日(水) ~9日 (金)	富山大学 五福キャン パス			査読付 4/17 頃 一般 5/23 頃	--	--	
CEA TEC						--	--	2016 年度は不 参加
第3回 研究会	12月3 日(土)	東京工芸 大学 (中野)	宇田川	8月 中旬	9月23日(金)	8	64	モデリングの実 装、一般 (ワー クショップ)

第4回研究会	2月24日(金)	機械振興会館	荻野	11月下旬	12月11日(金)	8	50	ビジネス評価と信頼性、学生セッション、一般
2017総合	3月15日頃	未定			未定	--	--	
					合計	27	180	

- ・第2回の開催場所については、富山大学案を検討したが、参加者が見込めないことから都内とし、開催場所は法政大学、世話人は五月女氏、サポート片岡氏とする。
- ・第4回世話人は荻野とする。

⑤ 2016年度専門委員会計画（確認事項）

下記のと通りの計画とする。

	日時	開催場所	テーマ
第1回専門委員会	5月20日(金)	機械振興会館	年度実行計画 FIT2016 フォロー
第2回専門委員会	8月26日(金)	法政大学	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー 2017年度事業計画
第3回専門委員会	12月3日(土)	東京工芸大学 (中野)	2017年度体制 総合大会フォロー
第4回専門委員会	2月24日(金)	機械振興会館	論文賞選考委員会の立ち上げ 2017年度新体制の提出

- ・委員長、副委員長ともに出席できない場合には、日程調整または Skype 利用を検討する。

3. 2016年度のSWIM研究会実施方針

3.1 2016年度の予算について

学会事務局に報告したとおり、会議開催経費、基調講演謝礼、表彰賞金など、総合計：150,000円の予算とする。

今年度の実績ではかなり余るので、活性化等に活用する。

3.2 活性化方針

3.2.1 「専門委員改選」（前回からの継続検討事項）

2年制等学会慣例に拘泥せず、SWIM参加率の良い人を優先起用し、参加率の不芳な人と交代。専門委員の候補者を各検討し、推薦いただく。

3.2.2 「産業界へ向けた情報発信」（前回からの継続検討事項）

- ・facebookのページを作成する。責任者、片岡氏、丹原氏。継続させることが重要。
- ・従来から行っている研究会発表資料のwebへの掲載は継続する。
- ・facebookやlinkedinなどのSNSに唯、載せれば済む問題でなく、swim発表内容を世間へ知らずヘッドラインコンテンツとその開示方に工夫が要る。そのコンテンツを観てもらうことが肝要。HP委員には現在のHP（発表PPT）の改良を望む。コンテンツ作成には協力惜しまない。（松本氏）

3.2.3 「表示キーワード群と実行性・必要性等視点からの改版」 (確認事項)

2016 年度秋には改訂版を出す予定。

3.3 基調講演の依頼先 (前回からの継続検討事項)

- ・丸山氏より提案のあったキーワード

プロダクトビジネスモデルからサービスモデル (重量課金) へ
資産を抱えないビジネスモデル

Sharing Economy

等の方向で候補者を探す。第 1 回の候補者が決まっていないため、メールで議論を継続する(取り纏め結城副委員長)。

- ・キーワードは研究/普及の時間経過に伴い変化するので、随時配慮し対応すべき。

以上